



優勝

2等陸曹  
山下陽暉

## 第103回全日本スキー選手権大会

令和7年1月31日（金）～2月2日（日）までの間、吉田クロスカントリー競技場（新潟県十日町市）において、第103回全日本スキー選手権大会が開催された。自衛隊体育学校冬季特別体育教育室（真駒内駐屯地）のクロスカントリースキー班からは4名が参加し、山下陽暉2等陸曹が1日目の1.3Kmスプリントで優勝、2日目の10Kmマススタート第3位の成績を収めた。

大会1日目、男子1.3Kmスプリント種目（フリー走法）は、予選ラウンド上位30名が準々決勝に進み、決勝ラウンドは6名1組（上位2名勝ち抜き）のトーナメント方式で順位を決定する。

山下2曹は予選ラウンドをトップで通過、準々決勝、準決勝と1度も先頭を譲らず、決勝ラウンドまで順当に勝ち進んだ。

決勝では、終盤までレースはもつれ、今季ワールドカップ最高順位9位の馬場選手、同じく11位の広瀬選手を従えゴール前の直線に入り、さらにギアを上げ2位以下を引き離し先頭でゴールに飛び込んだ。また、6位には集合訓練学生の高畑歩1等陸士（所属：第5普通科連隊）が入った。

レース後、山下2曹は「全日本スキー選手権大会で優勝するのは、今回が初めてで、今まで2位、3位となかなか優勝まで手が届かず悔しい気持ちを味わってきた。今回、勝つことが出来て本当に嬉しい。」と語った。



2等陸曹  
山下陽暉

1等陸士  
高畑 歩

学校長

冬季室長



2等陸曹  
山下陽暉

大会2日目の10Kmマススタート種目（クラシカル走法）は参加選手127名が一斉にスタートし、ゴールした順に順位が決定する。また、この着順と時間差が翌日の15Kmパーシュート種目のスタートに反映されるため重要なレースとなる。

10Kmマススタート種目のレースは後半の5キロからレースが動いた。先頭集団から2名の選手が飛び出し、山下2曹は追い上げるもそのまま距離を詰めることは出来ず、3位でゴールし翌日の優勝に望みを残した。

大会最終日、山下2曹は1位の広瀬選手から10秒後にスタートし、前半約4Km通過時点で早くも先頭集団に追いついたものの、後半徐々に集団から引き離され1位選手から約1分5秒の差で6位となった。

山下2曹はレースを振り返り「前日に引き続き優勝を目標にレースに挑んだが勝てずに悔しい気持ちが大きかった。気候の変化もあり難しいレースだったが、応援やサポートのおかげでなんとか3位に入ることができた。感謝の気持ちでいっぱいです。今回得た課題を次のアジア冬季競技大会に向けて修正し、個人・団体ともに金メダルを獲得できるよう精一杯、頑張ります。」と語り、新たな目標を確立した。

### 総合成績（入賞以上）

| 氏 名              | 階 級  | 出身地 | 1. 3 Kmスプリント<br>（フリー走法） | 10 Kmマススタート<br>（クラシカル走法） | 15 Kmパーシュート<br>（フリー走法） |
|------------------|------|-----|-------------------------|--------------------------|------------------------|
| 山下 陽暉            | 2等陸曹 | 富山県 | 🏆 優勝                    | 🥉 3位                     | 6位                     |
| 高畑 歩<br>（集合訓練学生） | 1等陸士 | 秋田県 | 6位                      |                          |                        |

